



NOBORIBETSU

5月5日、さわやかな五月晴れの下で第16回こいのぼりマラソンが行われました。

登別市子ども会育成連絡協議会の主催によるこの大会には、子どもからお年寄まで多数が参加しました。この日も2歳の幼児から74歳のお年寄まで約440人が参加し、こちち良い汗を流していました。

広報 のぼりマラソン

'91.6.1
No.488

■人口/56,641 ■世帯/19,854 (前月比=人口-97・世帯+79) 平成3年4月末現在

① 6月の土曜閉庁(休み)は8日と22日です

スクリーンブル



澄みきった青空が広がった5月12日、「子供たちに自分達が生まれ育った松前自慢のサクラを残したい」と、胆振松前会のメンバーによる植樹が、川上公園で行われました。

植えられたサクラは、白花の「雨宿」や緑花の「御衣黄」など珍種を含む八重

桜30本。参加した17名の会員は松前から取り寄せた約1㌦の幼木を日の向きなどを考えながら丁寧に植えました。

「今後も胆振各地でサクラの植樹を続け、環境保全の一助にしたい」と額に汗を浮かべ、笑顔で語っていました。

川上公園に 桜の苗木30本

安全運転を！初の合同ジャンボ検問

登別と室蘭の交通安全協会が初めての合同のジャンボ検問を行いました。

5月10日、富浦町のトラックスケールで実施されたこの検問には、登別市、登別と室蘭の交通安全協会、胆振支庁、室蘭警察署の関係者約150名が参加し、国道36号線を走るドライバーに交通安全を呼びかけました。

参加者は沿道に立ち「黄色い人と旗



の波」を繰り広げる一方で、室蘭警察署員が走行車両を検問所のトラックスケールに誘導。車の窓から顔を出したドライバーに「スピードは控えめに」「安全運転で」と呼びかけ、チラシや鬼の絵をあしらった特製ステッカー、温泉たまご入りの封筒を手渡し、交通事故一掃を願いました。

意欲新たに 婦人短大 入学式

登別婦人短期大学の入学式並びに始業式が5月15日、登別市民会館で行われました。

同短大は昭和56年に開校以来、403名の卒業生を数え、婦人の生涯学習の場として定着してきました。

本年度の1年生は、新入生76名と留年者13名の合計89名。2年生77名、聴講生124名で、全学生数は290名となりました。

式に出席したのは約250名で、総長である上野市長が「多くの友達をつくり、その友情の輪を地域社会で生かしてください」とあいさつし、新入生代表の村松夏枝さんが「意欲的に学び、仲間との交流を通じて自分を磨き、地域に

役立つよう努力します」と誓いの言葉を述べました。

同短大は中途入学も可能で、学ぶ意欲のある方の申し込みを待っています。

▷申し込み・問い合わせ 社会教育課
(☎881100)



わだいな

大きくなって 帰っておいで

——サケ稚魚50万匹放流——

5月7日、今年最後のサケ稚魚放流が登別川中流にある登別さけ・ますふ化場で行われました。

サケ稚魚を放流したのは、国際ソロプチミスト登別の会員の方が、バケツに入れられた稚魚1人約100匹を「大きくなって帰っておいで」と川へ放しました。

同団体は8年前から環境奉仕の一環としてサケの増殖事業へ寄付を続けており、「そのお礼に」と、登別漁協が同団体を招きこの日の放流となりました。

体長約6センチまでに成長したサケ稚魚は、全部で約360万匹。回帰率を高めるために5月まで放流を遅らせ、5月1日とこの日の2回に分け放流され、登別川へ放たれたサケの稚魚は、3年後、4年後に立派になって登別へ戻って来ることでしょう。



魚影濃く チップ漁解禁

5月19日、道内のトップを切り、クタラ湖のチップ漁が解禁になりました。風も無く、湖面は鏡のように釣り人たちを映し出していました。

この日駆け付けた太公望は、例年より少ない約40名で、午前6時の解禁と同時に一斉に湖面へこぎ出して行きま

した。

釣果は上々。魚体も昨年よりひとまわり大きい20センチクラス中心で、釣り人たちも思わず顔をほころばせていました。



マチの魅力再発見

——第8回全国一斉ウオーケラリー登別大会——

街の良さを再発見し、楽しく汗を流そうと、全国一斉ウオーケラリーが5月19日、登別市でも開かれました。

日本レクリエーション協会が主催したこの第8回大会は、胆振地方では登別市だけが会場となりました。

参加したのは34組170名で、海沿いの自然を観察する潮風コース、史跡を巡

る歴史コース、公共施設の役割りを学ぶ公設コースの各コースに挑みました。

この日はあいにくの雨。それぞれ約5キロのコース途中で用意された設問に頭をひねりながらも、参加者は元気いっぱい郷土再発見を楽しんでいました。



初夏です

野・山に親しんでみませんが



登別ビーチパーク ①

昨年七月にオープンした登別ビーチパークは、「海洋ファンタジーと北欧ロマン」をテーマに公園内で事業展開する「登別マリンパーク」と連動したユニークな公園です。北欧風の様式を取り入れたこの公園、どなたでも無料でご利用になれます。

新登別大橋 ②

幌別地区と登別温泉を結ぶこの橋は、昭和六十一年十月に完成。全長二百四十メートル、高さ百二十メートルで完成までに八年の歳月を費やしています。今では観光名所として、すっかり定着しています。

亀田記念公園 ③

故亀田光司さんの遺志に基づき昭和五十八年市に寄付された約二十万平方メートルの広大なレクリエーション緑地です。春の桜とつつじ、夏の森林浴、秋の紅葉と季節感を味わってください。また、ジンギスカン料理もあり多くの市民の憩いの場となっています。

川上公園 ④

幌別ダム下にあるこの公園は、市民の健康やスポーツに活用されています。昭和五十八年から整備をすすめる、多目的運動広場、ちびっ

子広場、芝生広場などがあります。また、毎年多くの催しものも行われ、市民に親しまれています。

地獄谷遊歩道 ⑤

昭和六十年から進められている登別温泉地域総合整備事業の一環として昨年三月に完成しました。全長五百五十メートルの遊歩道は、地獄谷のほぼ中央部分まで行くことができ、先端にあるゴボゴボと音を立てて湯をたたえる鉄泉池がまの当りに見ることが出来ます。

大湯沼 ⑥

鉛色をした表面からは湯気が立ちのぼり、温度も表面で四十度から五十度、深いところで百三十度もあると言われています。周囲が約一キロ、深さ約二十二メートルで世界的にも貴重なものとされています。

カルルス・サン・スポーツランド ⑦

昭和六十一年八月から営業を開始しました。旧カルルス小学校の跡地を利用したものです。テニス、ゲートボール・スベースゴルフなどが楽しめるほか、カラ松を使った山小屋風のセンターハウス内は、食堂や研修室などが設けられています。(有料ですので利用する場合は同スポーツランドへお問い合わせください ☎ 843348)

クッタラ湖

⑧

行政圏は白老町ですが、登別温泉と中登別から行くことができます。透明度日本第三位、周囲約八キロの典型的なカルデラ湖です。そそぎ込む川も流れ出る川もない深い青色をした静かな湖です。春から秋にかけて貸しボート、チップ釣り(毎年五月中旬解禁)ハイキングなどで多くの人に親しまれています。

陰の沢

⑨

登別にはいくつかの大きな川があります。この陰の沢は、幌別川の上流鉦山町へ行く途中にあります。明治の末から大正の初めにかけて銅の採掘が行われていたらしい鉦山跡があります。

いまでは山菜採りをする人が来る程度ですが、美しい溪流は涼味十分です。



私たちの身近にあるすばらしい自然をご紹介します。さわやかな初夏の一日、ご家族やお友だちと一諸に、野山に親しんでみませんか。

特集

初夏です



市民レポート



わがまち登別の下水道は、昨年十月にその供用を開始しました。

我が家でもすでに下水道を使用し、快適な生活をしています。そのしくみについて興味があり、若山町にある「登別市若山浄化センター（下水終末処理場）」を訪問、取材しました。



担当の人から水が浄化されていく様子を説明してもらいました。

若山浄化センター見学

私の家でも下水道を使っていますが、このメリットとして感じていることは、清潔で臭いに悩まされることもなく、川や海の水を汚していないという安心感があります。ハエなどの発生もなく快適な生活を送れることも実感としてあります。また、水で流すので便器の掃除も以前に比べてとても楽になっています。小さな子供が便槽に落ちるといふ心配もなくなりました。

このように快適な下水道ですが、どのようにして水がきれいになるのかといった「下水道のしくみ」についてほとんど知らなかったことと、下水道を利用して一定のお金を納めるのはなぜかという点等に関心があり、下水道の最終処分場である若山浄化センターを見学しました。

登別市の下水道事業は、今からさかのぼること十年余、昭和五十四年にその端を発しました。下水道事業のための各種調査を行い、昭和五十六年からは工事が始まりました。そして、十年後の平成二年十月、一部地域で供用が開始されたのです。この若山浄化センターも運転を始めました。

時間があまりなく、施設の全部は見学できませんでしたが、担当の方から施設の規模・概要について説明していただきました。このセンターの所在地は、若山町一

快適な暮らしを すすめるために

リポーター 丸山由紀



リポーター
丸山由紀さん(新川町在住)
登別子供劇場にも参加して
いる活動的な奥様です。

次に設備ですが、ポンプ室が一棟あります。このポンプ室は、各家庭等から流れてきた汚水をポンプによってくみ上げ、二基あるオキシデーションディッチ池に送り込むためのものです。流入口は地下十七メートルにあり自然流下(下水管にゆるいこう配をつけて汚水が自然に同センターに流れるようにしてある)によってこのポンプ室に集まっています。このポンプ室にはゴミなどを取り除くために自動除じん機が取り付けられており、汚水の中の不純物(ゴミ)はここで除去されます。ただし、処理できないものとして重金属類、水銀、トリクロエチレン、カドミウムなどがあるとのこと、こういったものを使用している所は除害施設を備えなければ下水道の利用ができません。一般的な

家庭から出る汚水は、だいたいのものが処理できますが、ダメなものとして廃油があるとのことでした。廃油は、排水管が詰まる原因となったりもするので、一人ひとりが気をつけなければなりません。汚水はポンプ室から分水槽へ送られ、ここからオキシデーションディッチ池に入ります。ここで二日間ほど滞留し、様々な微生物が発生させ、この微生物の体に汚物が吸着して沈下し、水が浄化されます。この微生物に必要な空気を送り込むためと、水質を一定に保つためにスバロータという機械により水流を起こしています。水質検査は池の数か所からサンプリングして毎日行っているとのことでした。

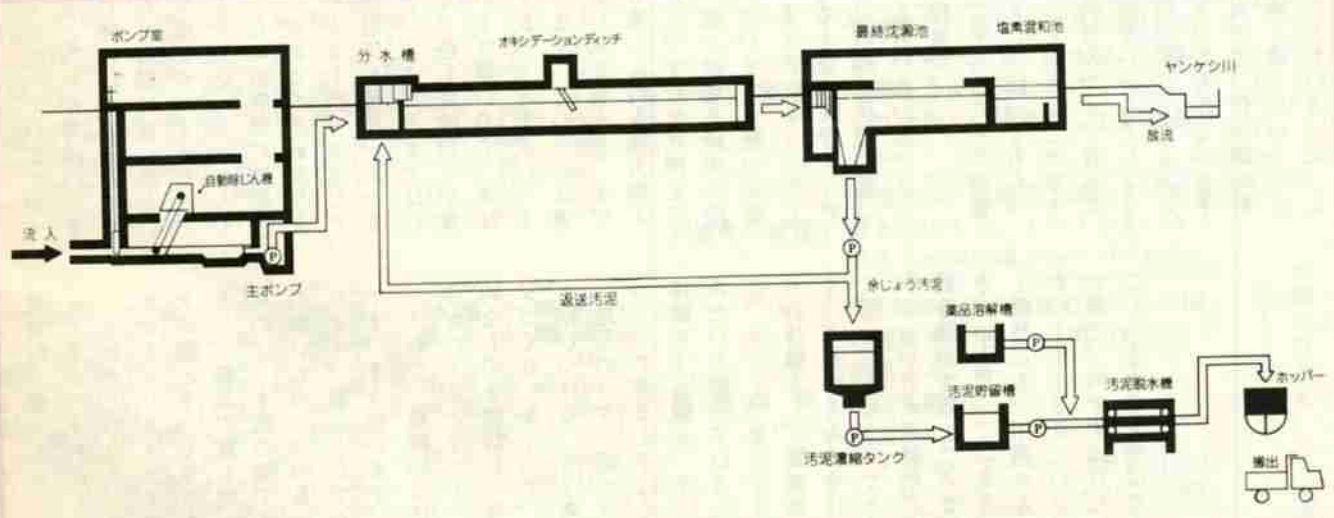
浄化された水は最終沈殿池に入り、塩素混和池で大腸菌などを殺菌してから近くのヤンケシ川に放流されます。

このセンターは、全て完成しているのではなく、年次計画で必要な施設等を整備し、逐次完成していくとのことでした。

汚水が微生物によって浄化されること、下水道が使えるまでに長い年月を必要とすること、また、いろいろの設備が必要であり多額のお金がかかることなど、このセンターを訪れて感じました。

受益者負担金

「受益者負担金」、あまり聞き慣れない言葉ですね。これは下水道の整備されている地区の方に建設費の一部を負担してもらうということでした。道路や公園などの公共施設は、私たち市民の誰もが利用でき、その恩恵を受けられますが、下水道の恩恵は下水道が整備されている地区の人たちだけに限られています。つまり、下水道の建設費を税金だけで賄った場合、下水道の整備されている地区の人たちと整備されていない地区の人たちとの間に負担の不公平が起こるため、下水道の恩恵を受けられる地区の人たちに建設費の一部を負担してもらうという事です。若山浄化センターを見学して感じましたが、広大な敷地や様々な設備が必要で、維持管理、下水管の設置など多額の経費を必要とすることは、主婦の私にも理解できます。家計の負担も気になります。それ以上で見返りが将来受けられることと思えます。また、受益者負担金を支払う対象となる方は、下水道が整備されている地区(下水道を使用していなくても)の全ての土地所有者が原則的に負担しなければならぬとのことでした。(借地などの場合は土地の所有者との話し合いで決めてくださいとのこと)より快適な生活を送るため、また、美しい川や海を私たちの子供や孫の時代まで残しておきたい、そんな感じをもちました。



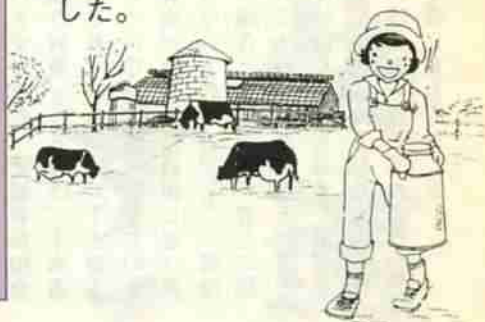
いきいきとまち インタビュー

乳製品加工研究会



川西 悟さん

地元登別の農産物を手作りで加工しようと昨年三月から「農畜産物加工研究会」の会長をされている川西悟さんに、参加されたきっかけや目的などについてお話を聞いてみました。



以前、登別のお祭りのときに地元で牛乳を生産している人だからこれを買って来て無料で飲んでもらおうと思いに相談したことがありました。なぜそんなことをするのか聞かれました。地元の物を地元の人が食べたり飲んだりできないのは変でないか、そう答えました。それがきっかけで「農畜産物加工研究会」の会長になってしまいました。

この研究会は、昨年三月に「登別市農業振興研究会」というのが発足し、その中に三つの委員会があり、その中の一つなんです。他は、「農用地有効利用研究会」、「農産物低コスト化研究会」というのがあります。私の所属している研究会は、二つの部会に分かれています。一つは乳製品の加工、もう一つは肉製品の加工なんです。

乳製品は、地元の牛乳を使ってバターやチーズ、アイスクリームを作って試食し、いまままで三回程やっています。この乳製品に「バター」というのがあります。これはバターの中にタラコを入れるんです。他のまちでは実際に売っているところもあるくらいです。もう一つの肉製品ですが、登別で肉を生産してはいますが、加工しているところが非常に少ない状態なんです。そのため実際にやってみようということで、ブタ肉を百匹使い、まぜものを使わずに腸づめを作ってみました。かなり失敗しました。普通は化学調味料な

どいろんなものを入れるんです。メーカーなどで売っていますが、それを入れると我々が普段口にしているものと同じ味にはできるんですが、できるだけ自然に近い味ということで自然塩でやってみたんです。自然塩をすり込んでみただけです。自然塩をすり込んでみただけです。自然塩には発色作用というのがわかってきました。ただし、自然塩でも種類があつてどれを使うところまではいっていません。色も普段我々が食べているものより薄いです。味は一般的な味と比べるとまずいです。堅いし。まずいというのは適切でないかもしれませんが、まぜもの、つまり香しん料を極力押えているからなんです。なぜ押えるかという、我々はいま研究の段階ですから、スパイスを使い完成品にすると、あとのアレンジのしようがなくなってしまうんです。だからできるだけ自然の状態に近いまぜもので食べてもらいたいんです。塩とコシヨー程度で。

これを試してもらうため、消費者協会の方たちに手伝ってもらったんです。そうしたら、この方々が非常に協力的なんです。有害な添加物とか一際ないからでしょうかな。我々が思っていたよりファンが多く、この人たちが作るのを手伝ってくれるんです。化学調味料に慣らされた味と違うということに気づいた人たちがいる。又、こ

ういう味を知った人たちの中に、温泉町で売ったという人もいます。なぜかという、全部とは言いませんが、メーカーでは機械でブタの腸とそっくりなものをつくれ、製品の質も均一ですよ。我々のは、本物の腸ですから太いもの、細いもの、穴のあいたものもあります。製品としてかなわないんです。そう思います。

それで、最終的には我々の研究会がベースとなって、加工研究所的なものを建設し、「体験ソーセージづくり」をやって、それを観光と結びつける、そう考えています。

地元のブタの腸でソーセージをつくらせて売るのではなく、つくる体験をする観光、そう結びつけてみたいと思っています。例えば、ツアーで来てソーセージづくりの体験をし、観光客が自分でつくったものをおみやげとして持って帰ってもらおう。できるかどうか判らないけど最終的にそういう施設を建設するところまでもってきたいと思っています。

偶然にも、川西さんの電話番号が83-1129（いいにく）もしかして、肉ですばらしい「まちおこし」をする人では！

道一筋

春の叙勲

勲四等瑞宝章

地方自治発展に尽力



高田忠雄さん(七十六歳)

元登別市長・元北海道議会議員・登別市中央町在住

昭和二十六年、深川町(現深川市)の総務課長時代に当時の幌別町役場の助役に就任されました。以後、助役を四期、町長、市長二期を務められ、昭和五十年から三十二年間は、北海道議会議員として地方自治発展のために尽力され、昭和六十二年には登別市名誉市民とられました。

勲七等青色桐葉章

防衛庁技官で功績



鎌田 侃さん(六十一歳)

元防衛庁技官・登別市柏木町在住

昭和三十年、陸上自衛隊北海道地区補給所東千歳弾薬支処へ入隊、昭和四十五年、同幌別駐屯地業務隊に移り、平成二年三月に定年退官するまでの三十五年間、一貫してボーイラー業務に携わり、多大な貢献をされました。

いきいき人とまち推進事業

国内(グループ)派遣研修参加者募集

平成元年度から行っている派遣研修事業は、市民の方々に異なった歴史や文化、生活実態などに接してもらい、そこで得た体験や知識を「まちづくり」に生かしてもらうことを目的としています。

昨年度のこの研修には、国内二個人・四グループ、海外一人を派遣しましたが、今年はグループを対象とした国内研修を行います。

私たちのふるさと「登別」を、個性あふれる「まち」にするため、あなたが必要と考えていることやアイデアなどの具体化に向けて他都市で見聞を広めたいと考えている方は、ぜひ、ご応募ください。

◎応募要領

市役所、各支庁にある研修申し込み書等に小論文と住民票謄本を添えて市役所企画調整室(〒〇五九 登別市中央町六丁目十一番地)へ提出してください(郵送も可)小論文の内容は、あなたが学んでみたいと思っていること、学んだことをどの様に活用しているかと考えているかなどを四百字詰め原稿用紙五枚程度にまとめてください。

度にとめてください。

▽応募締め切り 七月十日(水)

▽問い合わせ 市企画調整室 ☎851122

(募集の内容等)

事項	内容
研修実施期間	平成3年8月～平成4年2月2日
派遣対象者	登別市に住所を有する15歳以上の方のグループで、帰市後、研修の効果を市民自らの手によるまちづくり活動に、積極的に生かせると認められる方。
派遣者の責務	派遣者は、研修終了後市長に報告書を提出する。また、「いきいき人とまち推進会議」のメンバーとなる。
補助金額	「登別市職員の旅費に関する条例」の規定を準用し、予算の範囲内で補助する。 【限度額】 (国内) ・グループ……………100万円以内 (10人以内) (4グループ程度)
選考方法	小論文・面接審査を行う。
決定方法	選考委員会の意見を踏まえ、市長が決定する。

登別市民プールよりお知らせ

登別市民プールは、内部補修のため一時休館していましたが、工事が終了しましたので六月一日(土)午後一時より再開します。

プールを利用されていましたが市民の皆さんに対しご迷惑をおかけしましたことをお詫びいたします。

なお、市民プールの一時休館に伴い四月十五日号でお知らせしました「少年水泳教室」を次のとおり変更します。

▽日程・高学年(四～六年生)：六月十一日から六月二十二日まで
の日・月曜日を除く毎日
・低学年(一～三年生)：六月二

十五日から七月六日までの日・月曜日を除く毎日

▽時間 高・低学年とも午後四時から午後五時

▽場所 登別市民プール

▽対象 市内に居住する初心者的小学生男女

▽募集人員 低・高学年各四十名

▽受講料 無料(ただしスポーツ傷害保険料三百六十円が必要)

▽用意するもの 水着、プールキヤップ、バスタオル

▽申し込み・問い合わせ 六月五日から六月十一日の午後一時から午後五時までの間に、登別市民プール(☎855588)へお申し込みください。

こんなところ あんなところ

私の好きな場所 其の十二…カムイヌプリ

カムイヌプリとは、「神様の・山」という意味。その昔、コタンの人たちが神霊の存在する山として尊びました。標高七百五十メートル、幌別ダム横に登山口があります。幌別市街からも近く、昨年は登別山岳会のメンバーが十年の歳月をかけて六合目に山小屋を建設しました。

また、毎年五月中旬に山開きが行われ、登山口から頂上までの約四キロのコースに多くの市民が挑みます。



市民登場

友達の輪

猪手栄子さん
(56歳) 若山町在住



室蘭に住んでいるころから目の不自由な方のための朗読奉仕を始めて五年になります。家に一人だと、何か寂しい気持ちになりましてね。外に出てみたくなつたんです。毎月二回の例会を楽しみにしています。小さいころ母を亡くしていろいろな人にお世話になつたので、何か自分に出来ることで社会に恩返しをしたいというのもボランティアを始めた動機の一つです。

朗読奉仕をしているうちに、自分の戦争体験を後の世代に残しておきたいと思うようになり、昨年室蘭市の文学学校に通い、自分史を書きはじめました。中国残留孤児の人たちを見ると、人ごととは思えませんね。自分史はまだスタート地点に立ったばかりですが、

少しずつ書き貯めていっていずれは一冊の本にするのが夢なんです。

家では洋裁をしています。主に婦人服の仕立てです。洋裁学校を卒業して資格を持っているので、千歳町で毎月一回、リフォーム教室を開いています。家庭に眠っている古着を持ち寄って、皆さん楽しんでいきますよ。そのほかの希望ですか？。今は主人が忙しいので出来ないんですが、若いころ二人でダンスをしていたんです。いずれ主人が時間的に余裕ができればまた二人で始めたいと思っています。

（リポーター感・いろいろなことにチャレンジしていく積極的な姿勢に感心しました。塚野道代）
次回は、猪手さんご紹介の驚別町在住・村井房子さんです。

消費者コーナー

登別消費者協会は、悪徳商法の根絶や、商品についての苦情相談、食品の安全性確立、資源の回収など私たちがよりよい消費生活を営めるよう様々な活動を行っています。

五月九日、労働福祉センターで平成三年度の定期総会が開かれ、平成二年度の事業報告と新年度の事業計画などを次のとおり決定しました。

- ・会員増加運動・啓発の充実
 - ・食品・商品の安全性確保
 - ・ゴミの資源化促進
 - ・物価の監視と値上りの阻止
 - ・悪質商法の根絶
 - ・製造物責任の制度化促進
- 特に消費者大会、消費生活展では「資源の見直し」を重点的に行います。また、ゴミの分別について会員を対象に実態調査を実施することにしました。

甘い話にご用心

悪徳商法によって被害を受けている方は、以然として後を絶ちません。特に最近の手口は悪質化しています。万一、被害に合った場合は、消費者協会にご連絡ください。(毎週火・木曜日

に受け付けます。 ☎8307)

最近の悪徳商法の手口

◎先物取引商法

そもそも値動きの激しい先物取引(扱われる商品としては石油、ゴム、綿花、大豆、砂糖、コーヒー、とうもろこしなどが「あります」であることを隠して勧誘したり、取引業者が海外の業者と組み、お客の損になる取引を巧妙に仕組んだりしてお金をだましとるものです。

◎預り金商法

証券や株などの利殖運用を口実にして誘い、〇〇万円出していただけたら、その何倍にもしてお返しします」といってお金をだましとるものです。

◎第二次原野商法

すでに買わされてしまった無価値の山林や原野を、転売してやるという口実で土地の測量費や登記手数料などをだましとるものです。

◎資格商法・内職商法

中身の無い資格や内職をほのめかし、講座受講料や内職に必要な機材などを買わせてお金をだましとるものです。

生涯学習 コーナー



マイプラン講座 身近な場所で学習を

市教育委員会は、町内会や団体などへ講師へを派遣し気軽に学習してもらおうマイプラン講座の申し込みを受け付けています。

昨年度は、町内会館を中心にして十の講座が開かれましたので、その一部を左の表で紹介いたします。ご参考にしてください。

▽申し込み・問い合わせ 市教育委員会社会教育課 (☎88-110)

生花教室	千歳町内会婦人部
手編教室	鷺別婦人会
パッチワーク教室	鷺別2丁目婦人部
料理教室	スズラン団地婦人部
七宝焼教室	桜木団地町内会婦人部
粘土細工教室	幌別婦人会
手芸教室	柏木町内会婦人部
手編教室	鷺別1丁目婦人部
人形劇鑑賞	こくまの会

公民館講座が開かれます

「覚える喜び・できるうれしさ・出合う楽しみ」
ぜひ、「」参加ください

講座名	日時	場所	定員	材料費	持参する物	講師	申込開始日	備考
初心者 木彫教室 (状態しをつくりまします)	6/19・20 21・26 27日 (計5回) 午前10時～ 午後2時	市民会館 (木工室)	15名	3,000円 調刻刃2 本 材料費として (5回分)	エプロン・ 筆記用具 昼食	市民会館 サークル会 多利会	6/5～ 市教委社会 教育課 ☎88-1100	調刻刃のもっている方は持参下さい
初心者 陶芸教室 (コーヒーカップ・湯呑みなどをつくりまします)	6/26・27 28・7/9 16日(計5回) 午前10時～ 午後3時 (但し28・16日は 正午)	鷺別公民館	30名	1,500円 (5回分)	前掛け・ポ ロ布・筆記 用具・昼食	老人クラブ 陶老会	6/10～ 鷺別公民館 ☎86-8823	7/9、16日は幌別町の老人趣味の作業所へ各自行っていただきますのでご承知下さい
リビング フラワー 教室 (欧米式 いけばな (テーブルや 玄関に置く 花をつくり まします)	6/18 7/2 7/16日 (計3回) 午前10時～ 正午	登別婦人 センター	20名	1回につき 1,200円	コップ3個 筆記用具	野呂弘子 さん (登別東町)	6/5～ 市教委社会 教育課 ☎88-1100	6/18 3連花 (コップ3個を使って) 7/2 ドーム (うけ皿を使って) 7/16 コウン (グラスを使って)

ビデオで 「のぼりべつ」をPRしてみませんか



91北海道ニューフロンティア・フェスティバル実行委員会は、「北海道ふるさと自慢ビデオ大賞」を企画しました。

わたしたちのまち「のぼりべつ」を大いに宣伝するためのビデオ作品の応募をお待ちしています。

◎応募要領

▽テーマ「ふるさと・わがまちナンバーワン」

▽作品内容 テーマにそって町の素晴らしい風景や人物、町に伝わる物語などを素材として制作

▽応募資格 市内に在住する方
▽ビデオテープの規格 ハミリ、VHS、ベータ

▽応募期限 六月三十日まで

▽その他・作品は未発表のもの・特定の商品、企業のPRは除く
・応募作品は、市の選考会で選ばれた代表作品が「北海道ふるさと自慢ビデオ大賞」に出品されます・各市の代表作品はNHK総合テレビ「ほっからんど212」(平成三年九月から十月の月曜から金曜の午前十一時三十分)で全道放送される予定です。

▽申し込み・問い合わせ 商工労働課 (☎852-171)

水道週間

6月1日～7日

～一滴の水は地球の贈り物～

登別市水道部から

水道料金のお支払いは—
便利な「口座振替」でどうぞ。

■口座振替とは…

取扱い金融機関が、あなたにかわって預金口座より自動的に水道料金を支払ってくれます。

■たいへん便利です。

集金日が気にならなから、いつでも安心して外出できます。特にお留守がちのお宅、共働きの方や来客の多いお宅などは便利です。

■手続きは簡単です。

お申し込みは登別、室蘭市内の各金融機関、及び郵便局で受付けておりますので預金通帳にご使用の印鑑と最近の水道料金領収書をご持参下さい。

▷問い合わせ 水道部業務課 (☎856501)

登別に夥しい程のシカが居たことは前号紹介のとおりで、当時の人達の衣・食生活は、多くシカに依存していた。クマもシカを食べ、オオカミもシカを追って生活し、まるでシカは大地や自然の川のように当然あるものとされていた。そのせいも、おいしい肉や皮を届けてくれるシカを「鹿神」として祭る地方はシカの少ない宗谷地方だけと言われている(更科源蔵の「コタン生物記」)。

元来、野生の草木を食べるシカは、夏は全道に分布するが冬の日本海側は豪雪地帯なので下草を得られず、太平洋岸の胆振・日高・十勝・釧路の南東側太平洋岸に移動してくるので、登別地方も特にシカの生息地であった訳である。

明治(一八六八年)になりシカ猟に鉄砲を使うようになると大量に殺戮し、明治八年まで毎年六万枚のシカの皮が全道で産出され主にフランスに輸出していたようである。登別でも札幌本道開設後(明治五年)郡内の山中に入ってシカ猟をする者が多く、商人が多数入山し賑わったが、乱獲に対する処置として狩猟に鑑札を渡し狩猟期を定め課税をした。

当時、登別居住者でシカ猟に使う火薬の量は、大体四十五きといふが、開拓従事者には農業開拓と

馬の飼育が本命でオオカミ、ヒグマ対策に当たったようである。

開拓使は、シカがまだ減少する様子が見られないので明治十一年(一八七八)石狩郡船場町にシカ肉の缶詰工場をつくり(植苗村美々に移転)シカの内臓と血液から火薬原料の硝石をとるといふ熱の入れようであった。登別で狩猟されたシカも商人の手によって送られ缶詰めにされたに違いない。

然し、翌明治十二年に大異変が起った。この年は全道的に、特に

郷土史点描

登別の開拓と動物たち

動物たち

「シカとのかかわり」

登別郷土文化研究会 宮武紳一



太平洋岸も希にみる大雪に見舞われ雨が降り、氷状の堅雪の上に更に大雪が降り南下したシカも深雪で思うように移動出来ず、笹などの下草を食べれず餓死するものも多く、そのかず数十万頭、また人里に出ては捕獲され殺された。

天明四年(一七八四)にも同様の豪雪で大量のシカが死亡、アイヌの人達も食料に窮し、三百から四百人餓死したという記録(東遊記)以来の出来ごとである。

七万六千余頭のシカの缶詰工場

の生産も、明治十三年は僅か二万余頭となり同年休業になっていく。

登別地方で、この冬死んだ数の記録はないが春になるとシカの死体が腐り、登別市内の川や沼沢地は悪臭のため川水が使用に耐えられぬ状態が続いたと伝えられ、明治十四・十五年四国讃岐(香川県)から移住開拓した人の記録では、大木を倒し下草を刈り耕作しようとしたら、シカの骨や角がごろごろ転がり出て邪魔になった程と説明している(「丈草の記」)。

とにかくシカにとつては、自然が与えた大悲劇の年であった。

次に、登別にシカが多く生息していたという謂を地名などから考えてみたい。登別温泉は、江戸から明治時代に硫黄山、登別硫黄山、温泉場、湯の滝、滝の湯などの名称もあつたが、明治初期「鹿の湯温泉」ともよばれていた。

古い資料では、松浦武四郎の三航蝦夷日誌に「奇とするは、獣鳥類ともに此処に來り、沐すること度々見待ると云々」と記し、獣や鳥が登別温泉川で湯浴みするところを幾度も見ている様子をアイヌの人達から聞いて、これは本当だ、と納得している。北から大移動をしたシカの大群も、自然の靈感によりほどよい温泉川の中で傍ずみ、休息をし傷を療していた。

医療受給者証を更新します

— 老人 医療 —

老人保健法による医療受給者証の更新を行います。

現在発行中の受給者証は平成三年六月三十日で有効期限が切れますので、六月中に新しい受給者証を自宅へ送付します。

なお、次に該当する方は、そのつど保健衛生課又は、お近くの支所で届け出が必要となります。

○住所が変わった場合
○健康保健証の種類、記号・番号が変わった場合

※届け出の際は、新しい受給者証、印鑑、健康保険証を持参してください。

▽問い合わせ 保健衛生課 (☎851771)

少年の主張大会



少年が家庭や学校、地域において体験したことを通し、日頃考えていることを広く訴え、少年に対する一般の理解を深めようと「少年の主張大会」を行います。

市民の皆さんの多数のご来場をお待ちしています。
なお、この大会の最優秀者一名

が胆振支庁地区大会へ推せんされます。

▽名称 第八回登別市少年の主張大会兼平成三年度少年の主張胆振支庁地区大会予選会

▽日時 六月十二日(水)午後一時より

▽場所 市民会館(入場無料)

▽問い合わせ 市教育委員会社会教育課 (☎881100)

巡回児童相談

心身ともに健やかな子供を育てるための相談会を行います。

しつけ、ことばの障害、学校へ行きたがらないなど子供の問題でお悩みの方はご利用ください。

▽日時 六月二十日(木)午前九時三十分から午後四時まで

▽場所 鉄南ふれあいセンター

▽相談員 北海道室蘭児童相談所職員

※相談を希望される方は、予約制になっておりますので福祉事務所福祉課(☎852008)へお申し込みください。相談は無料です。

「国際写真サロン展」開催

時間変更のお知らせ

広報のぼりべつ五月十五日号に掲載しました「国際写真サロン展」の開催時間は、午前十時から午後六時、最終日十六日は午後五時までに変更となりましたのでお知らせします。